

コ	ー	ス	口腔疾患病態学 (Pathophysiology of Oral Disease)	
学年・期・単位	第3学年・後期・2単位		科目担当責任者	久保田 英朗 (顎顔面外科学講座 顎顔面外科学・教授)
オフィスアワー	火曜日18:00~18:30 (第1研究棟5階顎顔面外科学教室)		メールアドレス	
一般目標 (GIO)	歯科医は、う蝕や歯周病のみならず頭頸部領域の多種多様な疾患の治療を担当する専門医であることを認識し、これらの疾患を基礎学や他の隣接医学と関連づけその診断法、治療法を学ぶ。また、歯科医療が生命と直結した仕事であることを理解する。			

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 口腔疾患病態学序説	口腔疾患病態学の講義ユニットを理解する。
2. 神経疾患	口腔顎顔面領域に生じる神経性疾患を理解する。
3. 炎症とアレルギー	化膿性炎、特異性炎、菌性感染症、口腔顎顔面領域に生じるアレルギー疾患を理解する。
4. 顎関節疾患	顎関節疾患を理解する。
5. 口腔・顎顔面領域に症状を現わす疾患	血液疾患、口腔粘膜疾患、口腔顎顔面に症状を現す症候群を理解する。
6. ふり返り総合学習	口腔疾患病態学の重要事項を再認識する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A SIMPLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	河合 幹 監修	永末書店

評価法 (EV)
後期本試験 (100% 客観式+記述式) で評価

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/2	口腔疾患 態学序説	1. 口腔疾患病態学の講義ユニットを列挙できる。 2. 口腔顎顔面領域の疾患を列挙できる。	A スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(1) ~ (7) 各IV-(I) ~ (IV)
2	神経疾患		1. 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 2. 末梢神経疾患の種類と病因を概説できる。	A P302~311。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	松本剛一	F-2-1)-④ 各IV-(III)-2
3			9/9	1. 三叉神経痛の特徴、症状および治療法を説明できる。 2. その他の疼痛性疾患を概説できる。 3. 神経疾患を有する患者の管理を説明できる。	A P302~306。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	松本剛一
4			1. 顔面神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。 2. その他の神経疼痛疾患、神経痙攣を概説できる。	A P308~309。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	松本剛一	F-2-4)-(6)-② 各IV-(III)-2
5	9/16	口腔・顎顔面領域に症状を現わす疾患	貧血の種類、症状、検査法を列挙できる。	A P328~334。スライド、を使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(7)-① 各IV-(IV)-2-F
6			出血性素因の種類、症状、検査法を列挙できる。	A P341~346。スライド、を使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(7)-① 各IV-(IV)-2-F
7	9/30		白血病の種類、症状、検査法を列挙できる。	A P335~340。スライド、を使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(7)-① 各IV-(IV)-2-F
8			1. AIDS/HIV 感染症の病因、病態、疫学、予後を概説できる。 2. HIV 感染の検査法を概説できる。 3. AIDS/HIV 感染症の口腔症状を列挙できる。	A P288~289。プリントを配付し、スライドを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	本間義郎	F-2-4)-(7)-⑩ 各IV-(IV)-2-C ~ b
9	10/14		1. 口腔顎顔面に症状を現わす代謝障害、ビタミン欠乏症の種類、症状を列挙できる。 2. 退行性病変を概説できる。 3. 糖尿病の種類、病態、合併症、治療法について列挙できる。	A P294~296。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	本間義郎	F-2-4)-(7)-⑧⑨ 各IV-(IV)-1-V 各IV-(IV)-2-D
10	10/14	炎症とアレルギー	1. 歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 2. 急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。	A P88~106。スライドを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	土肥雅彦	F-2-4)-(2)-①②③ 各IV-(II)-3 総VI-5-E
11	10/21		1. 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 2. 菌血症および病巣感染の病態を説明できる。 3. 歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法、治療法を説明できる。	A P88~106、117。スライドを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	土肥雅彦	F-2-4)-(2)-④⑥⑩ 各IV-(II)-3
12			1. 舌炎、口唇炎を概説できる。 2. 口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、顎骨骨髓炎を概説できる。 3. 歯性上顎洞炎を概説できる。	A P85~111。スライドを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	土肥雅彦	F-2-4)-(2)-⑧ 各IV-(I)-3 各IV-(II)-3
13	10/28		1. 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。 2. 消炎手術を概説できる。	A P88~106、444~446。スライドを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	土肥雅彦	F-2-4)-(2)-⑦⑩ 各IV-(II)-3~I,K
14			口腔顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。	A P112~116。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	本間義郎	F-2-4)-(2)-⑤ 各IV-(I)-3-H
15	11/4	顎関節疾患	1. 顎関節の構造と機能を概説できる。 2. 顎関節疾患の種類と特徴を列挙できる。	A P212~231。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(4) 必6-B-h 総IV-3-C 各IV-(III)-3

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	11/4	顎関節疾患	1. 顎関節症の概念、診断基準を説明できる。 2. 各症型分類の臨床病理と病態、治療法を説明できる。	A P231～245。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	村上賢一郎 (客員教授・招聘講師) 久保田英朗	F-2-4)-(4)-① 各IV-(Ⅲ)-3～M,P
17	11/11		顎関節の外傷、炎症、腫瘍、強直症を概説できる。	A P212～245。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(4)-② 各IV-(Ⅲ)-3
18	11/11	口腔・顎顔面領域に症状を現わす疾患	1. 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 2. 上皮を形態的、機能的に分類できる。	A P64～80。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	D-2-3)-(1)-①② 総Ⅲ-1-F
19	11/18		1. 口腔粘膜の色素の異常を起こす疾患を説明できる。 2. メラニン色素沈着症、外因性色素沈着、色素性母斑、Peutz-Jeghers 症候群、Albright 症候群、von Recklinghausen 病を説明できる。	A P75。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(2)-①⑨ 各IV-(Ⅰ)-6-1-U～Z
20			1. 口腔粘膜疾患の角化の異常を起こす疾患を説明できる。 2. 口腔扁平苔癬、前癌状態、前癌病変を説明できる。	A P73～74。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(2)-①⑨ 各IV-(Ⅰ)-6-Q,S
21	11/25		1. 口腔粘膜の水疱、びらんを形成する疾患の種類と特徴を説明できる。 2. 天疱瘡、類天疱瘡、表皮水疱症、多形滲出性紅斑、Stevens-Johnson 症候群、中毒性表皮壊死症、全身性紅斑性狼瘡を説明できる。	A P64～70。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(2)-①⑨ 各IV-(Ⅰ)-6-E～K
22			1. 口腔粘膜疾患の潰瘍形成疾患の種類と特徴を説明できる。 2. 慢性再発性アフタ、Behcet 病、壊死性潰瘍性歯肉口内炎を説明できる。	A P70～73。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(2)-①⑨ 各IV-(Ⅰ)-6-L～M
23	12/2		1. 口腔のウイルス感染症の種類と特徴を説明できる。 2. 単純疱疹、疱疹性口内炎、帯状疱疹、ヘルパンギーナ、手足口病を説明できる。	A P64～67。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(2)-①⑨ 各IV-(Ⅰ)-6-A～D 各IV-(Ⅳ)-2-A
24			1. 口腔の細菌感染症の種類と特徴を説明できる。 2. 口腔カンジダ症を説明できる。	A P72～74。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(2)-①⑥⑨ F-2-4)-(7)-② 各IV-(Ⅰ)-6-R
25	12/9		1. 口腔粘膜疾患と関連するアレルギー、膠原病、免疫不全の種類と特徴を説明できる。 2. 非腫瘍性唾液腺疾患の自己免疫疾患を概説できる。 3. Sjogren 症候群の特徴、症状、治療法を説明できる。	A P79～80。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	久保田英朗	F-2-4)-(2)-①⑥⑨⑩ F-2-4)-(7)-⑦ 各IV-(Ⅲ)-1-G～H
26			1. 口腔顎顔面領域に症状を現わす系統的骨疾患の症状、診断、治療法を列挙できる。 2. 各種の系統的骨疾患の症状、遺伝形式、診断、治療法を列挙できる。	A P283～288。スライドを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	本間義郎	F-2-4)-(7)-④⑥ 各IV-(Ⅳ)-1
27	12/16		顎顔面領域に症状を現わす先天異常の種類と症状を列挙できる。	A P294、296～300。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	小林晋一郎 (非常勤講師) 久保田英朗	F-2-4)-(7)-⑤ 各IV-(Ⅳ)-1
28		口腔内に症状を現わす全身疾患の種類と症状を列挙できる。	A P294、296～300。スライド、ビデオを使い要点を概説する。ポイントを板書きする。	小林晋一郎 (非常勤講師) 久保田英朗	F-2-4)-(7)-⑤ 各IV-(Ⅳ)-1	
29	( / )	ふり返り総合学習	神経疾患、口腔・顎顔面領域に症状を現わす疾患、炎症とアレルギー、顎関節疾患の検査法について説明できる。	教科書、配布資料、ノートを参考に口腔疾患病態学の重要事項を再確認させる。	久保田英朗	F-2-4)-(1)～(7) 各IV-(Ⅰ)～(Ⅳ)
30	( / )		神経疾患、口腔・顎顔面領域に症状を現わす疾患、炎症とアレルギー、顎関節疾患の検査法について説明できる。	//	久保田英朗	F-2-4)-(1)～(7) 各IV-(Ⅰ)～(Ⅳ)